

50周年記念 畑薙~信濃俣河内~茶臼岳~畑薙

南アルプスブロックの残されたルート、畑薙第一ダムから稜線までを繋いできましたので報告いたします。

(日 時) 8月8日~8月10日

(場 所) 南アルプス信濃俣河内

(形 態) 沢登

(参加者) CL 渡邊三 SL 上茂 平野(直) 吉川 大塚 鈴木(玲)

6月末に柘植さんから公募があり、沢は一回しか行ったことがないが行けるかと尋ねると「問題ないよ」と、何の根拠もないのにOKがでたので参加することにしました。沢靴も持っていなかったので急遽用意はしましたが、ちょっとドキドキ。ところがリーダーの柘植さんが故障し山行自体が中止かな？と内心ほっとしていたのですが、渡邊三さんが変わってリーダーを務めるという事で決行することになりました。

はっきりいって、私にはあまりにも沢経験がなさ過ぎて信濃俣河内がどういふ沢なのかわかりません。くそ暑い昨日今日、沢は涼しく気持ちがいいこととか、大量の水がものすごい勢いで岩にぶち当たって水しぶきが上がる様子にちょっとビビったり、キラキラ光る水面を覗くと水流に洗われたいろんな模様で岩がごろごろして足をとられたり、いろんな色の釜を持った美しい滝が大小出てきてそのたびわあーって感激して落ちたり、まだまだ語りつくされたいろんな形容詞の沢の様子は確かに新鮮で心躍る山行でした。

ただ私には比較できるものが何もないので詳しく信濃俣河内を語る事が難しいです。と、いうかよく覚えていません。

そこで今回の沢の美しさ、難しさは写真を見て感じてもらえたらいいなと思い、私は山行全体をざっくり報告したいと思います。



畑薙第一ダム ここから繋がります



こ、こわい、大吊り橋

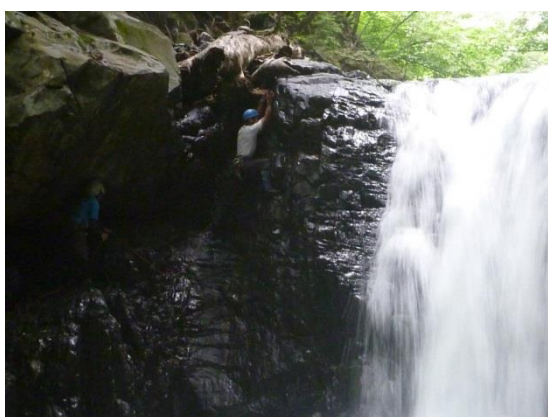
登山道があるわけでもなくここ歩け、ここ登れという道がないのでみんながそれぞれ歩きたいところを進んでいき途中何回か休憩を取りながら急流まで来る。岩に飛び移ったり、濡れた岩壁をへつったり先に行く上茂さんや平野さんの真似をしながらついていく。何回か水に落ちてずぶぬれに。寒くなってカッパを着たりもする。沢の出会いのところでリーダーが竿を出す。私たちは大休止。あったかい大岩の上で体を温める。釣れるのかなーって見ていると、あれ？なんか釣れているみたい。すごい！！釣れるんだ。釣果は4尾。美しいシルバーメタリックに赤い斑点のアマゴと20cm超えのイワナ2尾ずつ。夕食が楽しみだ。その後もここどうやって超えるの？という感じのゴルジュをリーダーたちに助けられながら進む。予定していた幕营地までは行けずに途中でテン泊することに。火をおこしタープを張る。こういう作業も私には初めて。みんながそれぞれ自分の役目をテキパキとこなす。私は役に立たないので水汲んだり、水を汲んだり、水を汲んだり。焚火の周りで服を乾かしながらおいしい夕餉。アマゴは串にして焚火で塩焼き。イワナはお刺身と味噌汁でいただいた。あちらこちらからおいしいつまみが次々出てくる。ゴ〜という水の音以外何も聞こえない。周りを気にすることなくいつまでも談笑が続く。あぁっ来てよかった。



おっきなイワナここで内臓を外す



美しいアマゴは塩焼き



リーダーが厳しいところを超えて行く



第二ゴルジュの難所を超えて

テン泊した所は第一ゴルジュといわれる場所の中間で、2日目は朝から厳しい滝登りだ。本当に美しい小滝、だけど越えられない。そんなところがいっぱい続く。今日も平野さんや三さんに助けられながら、やはり多少予定していた幕営地より手前でテン泊。そして本日は、、三さんがせっかくお魚釣ってくれたのに、ザレた大斜面を激走してきたカモシカの突進に会ってお魚を沢に落としてしまい、ものすごく残念。しかし非日常的な出来事でほんとに山の中にいるんだなと実感する。この日は雨が降ってきてしまいタープの中での宴会。星が出るころには私はすっかり夢の中。

巻くしかないでしょ →



水量もあるんです



滝はいったいくつあるんだ



今日も良く歩いた

3日目。今日は何としても白樺荘まで6時までには着かないとお風呂に入れない。吉川さんにかかなりのペースで引っ張ってもらい、びっくりするくらい早く目的地、尾根筋の希望峰に着く。50周年記念山行。旗を出して記念撮影。今回のミッションですもの。そのあとはもう黙々と、お風呂、お風呂と山を下るだけ。約6時間かけてダムゲートまで。お風呂に入ってさっぱりすると、帰りの車の中も高揚しているのか居眠りもせずにし

やべりまくって帰葉。



稜線に上がってここで一筆書きが繋がりました



あとは下るだけ



とは言っても下りが長い



足並みそろえて最後のつり橋

沢中2泊の大きな沢。圧倒されたけど本当に行けてよかったです。感想はいろいろあるのですが長文になりましたのでこのへんで。

連れて行ってくださったメンバーの方々感謝です。(玲)